

平成25年第3回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 林山 健二

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 津波の時、避難の場所 標高表示で何メートルの所へ避難するか 町が示すべきでは	(町長) 町内各所に標高表示がされているが、住民はどこへ、何メートルの場所へ避難すれば安全なのか。 今までは自主防災に丸投げで町が本気で住民の安全安心に取り組んでいるように見えない。また現在の避難場所は適正か、見直しが必要ではないか。 (町長・教育長) 避難訓練はどうなっているか。	町長 教育長
2. 農道高松、中郷線が中止されている、再開して完成させないか	農道高松～中郷線が中止されている。前町長の時、町の負担の割には通行量が見込まれないとのことだった。 開通するには本町の負担はいかほどか。 万一の時の麻里府地区の避難道としてはとても有効と思う。早期再開して避難道としても利用できる高松、中郷線を開道してほしい。	町長

質問者2 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 公民館分館等の管理について	現在、町が管理している公民館分館（小行司、国木、竹尾）及び大波野老人作業所（大波野中央会館）は、老朽化が進み修理が必要な状況です。先日も大波野老人作業所でシロアリ被害が確認されました。床も見た目は良いのですが、修繕が必要ですし、エアコンも故障して使えない状況です。今回は、町の負担でシロアリ対策、エアコンの修理をする予定ですが、床の修繕は、集会所施設の整備補助制度により、地元の負担と町の補助金で修理することになります。 地元の費用の一部負担はやむを得ませんが、負担軽減のため、町の補助額を拡充したらどうかと思うがいかがか。 また、施設の管理を地元に移管した場合、修繕費の地元負担が多くなるのは間違いありません。今後も、町が管理していくのか、いずれは、地元に移管するのか、町の今後の方針を問う。	町長 教育長
2. 節電対策としてのLED照明の促進について	節電対策として、LED照明の促進が重要であると考えます。 先の3月定例議会で、町長は「再生可能エネルギー・LED化検討プロジェクトチームで検討している」と答弁されたが、公共施設のLED照明化を、今年度はどこまで進める予定なのか。 また、太陽光発電で電気代収入を増やすより、蛍光灯（公共施設）、水銀灯（体育館、外灯）をLED照明に替えて、電気代支出を押さえる方が得策と考えるが、町の計画を問う。	町長

質問者3 松田 規久夫

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町役場のお客窓口対応を問う	田布施町役場1階窓口の会計室、町民福祉課、健康保険課、税務課に各種手続き、料金支払いなどの用件で町民が昼休みに来庁する。 職員が自席で食事をしていれば、これを見た町民は自分の用件は処理してもらえないのと不信を抱く。執行権のある町長として昼当番の運用を徹底し、住民サービスの向上に努めて欲しい。これには快適に食事が可能な休憩室の設置が必要と思うがどうか。 町役場玄関入口の黒板に執務時間8時30分から5時15分とあるが、金融を含むお客様窓口対応時間は執務時間と同様と考えて良いか。 また、窓口を一本化する総合窓口への移行の考えはどうか。	町長

2. 公共施設のトイレ洋式化について	公共施設の図書館、体育館、公民館、ここ本庁舎に必ず1つは洋式トイレがあるのは町の施策として良いと思う。しかし、洋式の利用を希望する人のための身障者用トイレへの案内が不足している。来客者で洋式を使用したい人と身障者との使用が重なる可能性は低いので、何らかの案内表示は必要と思うがどうか。もう1点、今の便座では冬は使いにくいので、ウォッシュレットを含め温便座への改修はどうか。	町長
--------------------	--	----

質問者4 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 国民健康保険税の負担軽減について	<p>国民健康保険の加入者は高齢者や所得の低い人が多く国民健康保険税が高いとよく聞く。一般会計から国民健康保険特別会計に町単独（法定外）での繰入を行い、国民健康保険税を引き下げてはどうか。近隣の岩国市、柳井市、周防大島町は法定外繰入を行なっている。</p> <p>柳井市は平成24、25年度予算で毎年2億円の繰入を行なっている。平成25年度国民健康保険特別会計の予算規模が田布施町と柳井市とは違いますが、柳井市の2億の繰入額は、比率でいうと田布施町での8,536万円相当となり、一人当たり18,215円の引き下げが可能となる。真に住民の福祉向上を考えられるなら、引き下げを英断されてはどうかお尋ねする。</p>	町長
2. 高齢者や移動弱者に対する交通手段の確保について	<p>少子高齢化や核家族化、過疎化等の社会情勢の変化に伴い、交通手段がなく、買い物や、通院、通学が困難な状況に置かれている人たちが居られ生活に困っている。</p> <p>高齢者や移動弱者の声を聞くと、「小型車両で細い道までの乗り入れ」「高頻度運行」「駐留所フリー乗降」などが求められていることから、デマンドバス運行方式での実施がイメージされる。デマンドバス運行方式のソフトも開発されインターネットでの利用が可能であり、初期投資が少なくすむと聞いている。</p> <p>高齢者や移動弱者の足の確保をし、生活の質的向上、積極的な社会参加を支援され「住みたい田布施」の実現を目指してほしい。町でも「地域交通対策プロジェクト」で町民の足の確保について協議中と説明を受けているが、どのように対応されようとしているのかお尋ねする。</p>	町長

質問者5 高川 喜彦

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. マイナンバー法と住民生活	<p>国民一人ひとりに番号を割り振り、年金や納税の情報を一元的に管理するマイナンバー法が国会で可決され、成立、2016年1月から利用が始まるということである。</p> <p>この法律について、住民にもっとも身近な地方自治体である町は町民にわかりやすく説明していただきたい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. そもそもこの番号制度の目的は何か。利用範囲はどういう範囲か。どういうメリットがあるか。 2. プライバシー侵害が生じる危険はないか。サイバー攻撃等からの完全な防御システムが構築できるのか。 3. マイナンバー法は「正確な所得捕捉」と「税と社会保障一体改革」の為に必要だとも説明されているが「利子収入までは把握できない」等の限界も言われており、根拠が失われていないか。 4. 本町の個人情報保護条例は、見直しの必要はないか。 	町長
2. 町道御蔵戸線の道路改修計画を尋ねる	<p>町道御蔵戸線の道路は車の通行量もかなりあり、大型車両もある。私は地元議員として、昭和60年代からこの道路の改修の必要性を要請してきたところである。</p> <p>平成10年の暮れ、当時新しい町長から「諸般の事情から改修工事の実施を5年程延ばさせてほしいと鄭重な説明を受け、大波野農免と波野</p>	町長

	<p>農免の工事もあることから了解したことを覚えております。その後平成15年になっても何事もなく、あれから10年の歳月が経ち、2つの農免道路も完成しました。</p> <p>町道御蔵戸線はクランク状にはなりますが、2つの農免道路を接続する道路であり、この道路を往来する人や車の交通安全上からも拡幅改修工事が必要であります。本件の取り組みを示していただきたい。</p>	
3. 「学校週6日制」前倒し実施について	<p>文部科学省が公立校に導入を検討している「学校週6日制」の前倒し実施が都市部等一部の地域で進んでいると聞いております。</p> <p>特に「土曜授業」は保護者の支持が強く、東京都小学校PTA協議会が実施した調査では、保護者の86%が「必要」と答えたとのことであり、</p> <p>尾崎教育長はどうお考えになりますか、お尋ねいたします。</p>	教育長

質問者6 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町の「ゆるキャラ」を公募して着ぐるみを製作しては	<p>平成23年12月議会で、本町も「ゆるキャラ」を公募して着ぐるみを製作してはどうか、という一般質問をした際、実現性は難しい回答でした。その後、ここ1年半、メディアでの扱いや、一般の人々の認知度も盛り上がる一方である。我が町の名前や特産品を全国にアピールする上で、着ぐるみはもはや常識といってもいい社会状況になってきたと思える。平生町は昨年秋から「かんぷうくん」という着ぐるみがいろんな手法で、活躍を始めた。5月の連休には柳井フラワーランドで近隣の着ぐるみと一緒に来場者を喜ばせていた。</p> <p>本町にはないので、この仲間にも入れない。</p> <p>一過性でなく息の長い愛されるものにしないといけないが、そろそろ本町も「ゆるキャラ」公募、着ぐるみ製作をしてはどうか。</p>	町長

質問者7 國永 美恵子

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 太陽光発電設備等の農地対応について	<p>再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、各地で再生エネルギー施設の導入が相次いでいる。特に注目を集めているのが太陽光発電であり、大規模な用地が容易に確保できる農地への設置が増えているため、農水省は転用許可制度上の新たな判断基準を示した。</p> <p>基準によれば農地のまま発電施設を設置できるし、耕作放棄地であれば転用の許可を受けなくても設置可能とされている。耕作放棄地の利用、また環境美化対策として取り組んではどうか。</p>	町長
2. 健康づくり、町の支援について	<p>今年3月、田布施町健康増進計画が出された。これは第5次総合計画の「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」を実現させるため、田布施町民の健康づくりを推進していくものとある。自分の健康は自分で守るという自覚も必要であるが、町のあと押し、支援は必要であり重要である。</p> <p>① 妊産婦歯科検診（無料）の実施 ② 前立腺ガン血液検査の補助</p> <p>この2点について、県内ではすでに実施自治体もあり、住みよき山口県一のまちづくりを進める長信町長にあつては早急の対応をされたい。</p>	町長
3. 奉仕活動等の事故について	<p>町の奉仕活動事故見舞金がH22年度、H23年度、各々1件、支給額10万円となっている。H24年度の状況を尋ねる。その他補償等あれば尋ねる。この制度の周知は図られているか。奉仕活動に対しての安全確保について町の指導はあるか。</p>	町長

<p>4. 介護保険について</p>	<p>昨年4月から始まった24時間地域巡回型サービスを実施する自治体が少なく厚労省の見通し通りに普及せず、特に町村での実施がほとんどないということ。介護保険は在宅介護や施設入所のサービスを選ぶことができるはずであるが、事業者がないとか入所は空き待ち等、希望するサービスが受けられない状況がある。また要支援の見直し検討もされている。保険料負担が重くなる中で介護保険の充実にどう対応されるか。</p>	<p>町長</p>
<p>5. 学校給食アレルギー対応について</p>	<p>昨年12月に学校給食でアレルギー物質を含んだ食物で死亡事故が起きた。2月12日のNHKクローズアップ現代で「続発するアレルギー事故 学校給食で何が」と題してアレルギー物質を含んだ食材を食べたショックを起こす事故が全国で続発していると放送があった。国はH20年度にアレルギー対応のガイドラインを出した。本町の学校給食でのアレルギー対応を尋ねる。</p>	<p>教育長</p>